vol.56
2025年
5月

東京の生協のまちづくり活動トピックス

まちづくり活動では、地域生協と医療生協、生協と地域で活動する団体などと連携し、
「ひとりぼっちにしないまちづくり」を目指して様々な取り組みをすすめています。

パルシステム東京・東京保健生協　文京区の消費者行政訪問がご縁で共催企画が実現！

鰹節5g
お湯180ml

おいしいだしが
取れました

5月20日（水）、東京保健生協大塚診療所において、パルシステム東京と東京保健生協による「離乳食講座」を開催しました。パルシステム東京が文京区で借りられる会場を探していたところ、消費者行政訪問の懇談で同席した東京保健生協から大塚診療所の地域交流スペースを紹介されたことで、共催企画が実現しました。

東京保健生協の管理栄養士、小西さんから「ゆっくり・楽しく・離乳食」の講義の後、パルシステム・ライフアシスタント（PLA）から、手軽にだしをとる方法として、コーヒードリッパーを使ったかつおだしをとる方法も教えていただきました。「新生児でもわかる先天的味覚がうまみ（だし＝素材のうまみ）であり、幼いころの『だし』体験が味覚を育む」そうです。風味豊かなだしを参加者で試飲したり、おすすめ商品の「うらごしコーン」や、除草剤や化学合成農薬を使用しないバナナなど、離乳食にも安心して使える食材を試食しながら、講師を交えて懇談しました。今後も、このご縁を大切に、コラボを続けていければと思います。

＊PLA
パルシステムの講座を受講して、パルシステム商品の紹介などの活動に取り組む組合員

小西艶子さん

品川区まちづくり　くらしの困りごとを手助けする 品川区社会福祉協議会の活動を学ぶ

生協の活動の中で「社協ってよく聞くけど、何をしている所なの？」「関わることがなかったからよくわからない」と耳にします。
3月19日（水）、定例会のミニ学習として、品川区社会福祉協議会「支え愛ほっとステーション」の斉藤紘美さんからお話を聴きました。

社会福祉協議会は、高齢者、障がいのある方、子育て中の方などが必要な手助けの相談ができ、とても頼りになる存在であること、また地域福祉を支える人への支援や、白状・T字杖・紙おむつの支給や助成など直接的な活動も行うなど、事業が多岐にわたることを知りました。

参加者からは「社協の取り組みがわかり、連携できることがあることがわかった」「生協が見守りで見つけた困っていることを社協さんと共有したい」「地域支援員や民生委員さんのお話も聴きたい」と感想があり、生協がいっしょに取り組めることや役立てることを考える学習会となりました。

斉藤紘美さん

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・生活クラブ生協・城南保健生協

三鷹をつなげようプロジェクト

パルシステム東京、生活クラブ生協、東都生協、北多摩中央医療生協

生協の防災の取り組みや商品を伝えるために

3月22日（土）、「Mitakaみんなの防災フェスタ」にブースを出展しました。パネルや生協商品の展示を通じて、「もしもの時に必要なこと」「備えておきたいもの」を紹介し、医療生協の強みを活かした握力測定による健康チェックも実施しました。当日は天気もよく、200人を超える来場者が立ち寄ってくれました。

子どもも大人も握力チェック

新たなメンバーも加わりパワーアップ

みんなの思いをカタチに！
～三鷹で困窮者支援～

骨密度測定中

5月10日（土）、北多摩中央医療生協のみなみうら生協診療所でフードドライブと健康チェックを開催しました。初めての試みでしたが、雨天にも関わらず、全部で114点、約20kgの食品や文房具が集まりました！

“フードバンクみたか”に寄贈

寄贈品を提供していただいた方には、骨密度計や体組成計、握力計を使って無料健康チェックも行いました。寄贈品は、パルシステム東京と以前からつながりのある三鷹市内のフードバンク団体へ寄贈しました。

編集発行：東京都生活協同組合連合会